

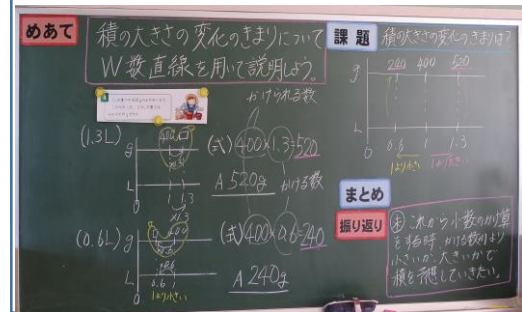
学力向上に効果のある取組事例

中津市立深水小学校

「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」の適切な設定

取組の具体①

- 学校評価の4点セットの【重点的取組】(児童が「学ぶことが楽しい」と実感できる授業づくり)の《取組指標》に組み込み、全学年で毎日、取り組んでいる。(一日4時間以上)
- 【めあて】→1単位時間の授業を終えた時の「児童のゴールの姿」をイメージして示す。「こんな力を身に付けてほしい」「この学習内容を理解してほしい」ということを明確にして授業実践することを学校全体で徹底している。
- 【めあて】→学習の見通しをもたせ、児童の意欲を高めるものになるように工夫している。
- 【課題】→児童が追究したくなる課題になるような工夫(例:意見の対立・ほどよい高さのハードル課題・既習事項や既有事項とのズレがある。等)
- 「まとめ」→本時の課題に対する答えや結論をまとめさせる。
- 「振り返り」→視点をもたせて振り返りをさせる。①今日、わかったこと(現在) ②既習事項とつなげて考えたこと(過去) ③次の時間にやりたいこと(未来) ④友達から学んだこと
- ユニバーサルデザイン(UD)を意識した授業の展開
- 教科の特性や単元の展開、本時のねらい等に応じて適切に設定することを全教職員で共通理解して実践している。



取組の具体②

『個に応じた学習時間の保障』

- 学校評価の4点セットの【重点的取組】(個別最適な学びの保障)において《取組指標》(個に応じた学習時間を保障する。)に組み込み、全学年で毎日、取り組んでいる。
- 【朝短時間学習 10分間】個々の児童の実態(学習の課題)に応じて「漢字ドリル」「読解力ドリル」「計算ドリル」「文章題ドリル」から選ばせ、10分間(5分1ページ分×2ページ以上)取り組ませている。《週3回》
- 学年末(2月～3月)は「学年総まとめ月間」として、朝の短時間学習(10分間)に「国語・算数(理科・社会)」の【総まとめドリル】をする。
- 【総まとめドリル】の中で課題のあった単元(理科・算数等)については、再度、担任が学習内容を復習させる。

